

バスケットが好きだから

成田中学校 男子バスケット ボール部

ほくたち成田中学校男子バスケットボール部は、3年生9人、2年生4人、1年生6人と、マネージャー1人の合計20人です。

練習は、朝と放課後、そして土日も行っています。体育館はほかの部と共用なので毎日使えませんが、そんな日は、ランニングをしたり、中庭で練習したりしています。

顧問の阿部光雄先生と近藤英嗣先生は、時にはやさしく、時には厳しく(厳しい時の方が多いかな)ほくたちを指導してくれます。先生からは、「最後にもう一歩、ねばりを出



みんなバスケットが大好きなんだ!



シュートの正確さが勝利のカギ

せ、それができれば県大会に出場できるはずだ」と言われています。また、「いつもほくたちを応援してくれる佐藤美空(さとうみそら)マネージャーは、「一生懸命やれば結果はついてくるよ!」と励ましてくれます。

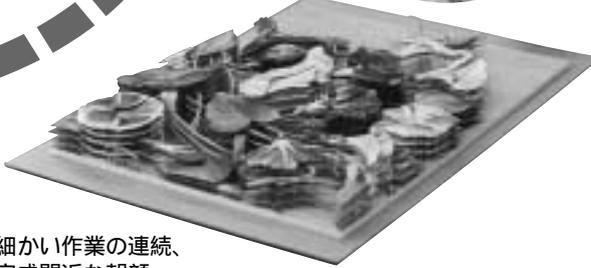
みんなバスケットが好きで集まった仲間だから、厳しい練習でもがんばれます。「こんなほくたちのモットーは、面(めん)の目標を持ち、やむを得ないので、はなへん(はなへん)せやむなら明るく楽しく元気にやるっ!」です。



固いガードからチャンスが生まれる



ピン先に神経を集中させて



細かい作業の連続、完成間近な朝顔

なかまと一緒に 一枚一枚丹念に

素敵なシャドーボックス

わたしたちは公民館のシャドーボックス教室で知り合い、その魅力に引かれ、今年の2月にサークルを結成しました。毎月2回、加良部公民館で河合野子先生に指導していただいています。

シャドーボックスは、5〜10枚の同じ絵柄のプリントを、形のおおりに切り抜き張り合わせ、立体感のある絵に仕上げるものです。与えられたカードをどのように切っていくかが難しく、また、張り合



河合先生を囲んで。みんなで大作にチャレンジしています

わせるカードの枚数と厚みの違いで全く別なものが出来上がり、それが個性となります。

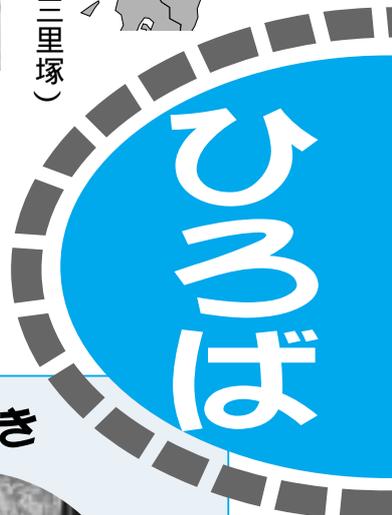
仕上げに絵の表面に艶(つや)だしをかける、絵が一層引き立ち、陶器の美しさを思わせるのです。とても細かく根気のいる作業の連続ですが、完成後、作品を額にいれる瞬間の達成感と満足感が何とも言えない喜びとなっています。

手作りして心を込めた作品は、自宅の部屋のインテリアに、また、友人の結婚式のお祝いにあげるときも、とても喜ばれました。

今は、秋に初めての展示会を行うために、みなさんと大作に取り組んでいます。

通信簿のない小学校でのんびりと

宮本美樹さん（西三里塚）



わたしのふるさととは、福岡県嘉穂町です。三方を吉嵐山・屏山・馬見山に囲まれ、恵まれた自然環境の中にあります。広大な面積ですが、町民は約1万人です。そのため、町全体が家族のように暮らしています。小学生のときは通学に40分以上かかっていたので、夏の暑い日は帰り道にお茶やスイカをこちそうになりながら帰ったものです。また、良いことをしても悪いことをしてもすべて筒抜けでした。

自然環境に恵まれていますので、馬見山連峰から流れ出る豊かな水を利用した酒造りが盛んです。また、フルーツの里としてリンゴやナシの生産にも力を入れています。この季節は、きれいな水を生かした「そうめん流し」がとてもおいしいです。

わたしの卒業した小学校は、全国



のんびり過ごした学生時代
（後列左から3人目が宮本さん）

でただ一つの通信簿のない学校でした。のんびりしていて、競争心というものがなかったようです。中学で初めて通信簿をもらいドキドキしたことが印象に残っていますね。

ふるさとは母がいますので、毎年夏に帰省するのが楽しみです。このとき、母の笑顔から1年分のパワーをもらいます。

成田には、就職が縁で16年前から住んでいます。仕事や子どもを通じて、いろいろな方と知り合うことができ、現在、ママさんバレーにはまっています。この出会いを大切に、これからも成田で楽しく暮らしていけたらと思います。

ふるさとトーク 福岡県嘉穂町

スクスクのびのび

濱田岳くん（3歳）飯田町

スイミングに通って泳げるようになったよ。5月に弟が生まれてお兄ちゃんになったんだ。弟が泣いたときには「よしよし」ってしてあげるの。早く大きくなって、一緒にミニカーや自転車で遊びたいな。



ペット大好き



形野春雄さん（不動ヶ岡）
クー（メス）

人と話しているのかと間違われるほど、クーによく話しかけます。犬がストレスなく生活できるように、コミュニケーションを大切にしています。



こんにちは
赤ちゃん

藤田千尋ちゃん（加良部）



鈴木奏映ちゃん（西三里塚）